

—編集後記—

土壌の物理性 130号をお届けします。今号は、センサーと国際土壌年に関する二つの小特集を掲載しました。有益な原稿や刺激的な原稿を多く集めることができ、勢いのある号になったと思います。いかがでしたでしょうか。

会員数や投稿数の減少傾向に対し、土壌の物理性では、時々の編集長や編集委員会の努力により、内容や企画の充実、質の向上、情報誌としての側面の模索など魅力ある誌面作りが図られてきました。様相についても、A4化、ロゴの作成と表紙への掲載、TeX化、電子化などコストの軽減や時代の流れに合わせ、その刷新が進んでいます。A4化やTeX化に関連して私もこの何期か編集作業に関わって参りましたが、動画などのサプリメントの付加やオープンアクセス、区分の新設など、更なる発展

への議論は尽きません。今号のコンテンツやこうした議論に、ご意見やアイデアをお寄せいただければ幸いです。

さて、今号より事務局の改編にあわせ編集委員会も新体制となりました。半数の委員に継続いただき、新たに委員長経験者をも迎えた強力体制です。今回の二つの特集に続き、次号以降も魅力のある企画が発信されることと期待しています。私も編集幹事に留任ということですので、及ばずながら委員長や編集委員のお手伝いに尽力し、良い誌面作りに貢献したいと思います。とはいえ、学会誌は会員の皆様からの論文や情報の投稿によってこそ活気づきます。国際土壌年でもある今年、皆様からのバラエティに富んだ多くのご投稿をお待ちしております。

渡辺晋生（編集幹事）

土壌物理学会

事務局構成	会 長	長 裕幸	(佐賀大学)	
	副 会 長	江口 定夫	(農業環境技術研究所)	
	庶務幹事	中野 恵子	(農業・食品産業技術総合研究機構)	
		宮本 英揮	(佐賀大学)	
	編集幹事	渡辺 晋生	(三重大学)	
	会計幹事	近藤 文義	(佐賀大学)	
	会計監査	中川 啓	(長崎大学)	
		徳本 家康	(佐賀大学)	
	編集委員会	委 員 長	取出 伸夫	(三重大学)
		委 員	小杉 賢一朗	(京都大学)
		千葉 克己	(宮城大学)	
		釣田 竜也	(森林総合研究所)	
		中川 啓	(長崎大学)	
		中辻 敏朗	(北海道立総合研究機構)	
		橋本 洋平	(東京農工大学)	
		諸泉 利嗣	(岡山大学)	
		宮本 輝仁	(農業・食品産業技術総合研究機構)	
		望月 秀俊	(農業・食品産業技術総合研究機構)	
	吉田 修一郎	(東京大学)		